



高 奈留 鍛錬坂

軟式野球部 国体出場決定！！



『見せろ、奈留高魂』 体育文化後援会会長 松竹 健次

奈留高校軟式野球部のみなさん、「長崎がんばらんば国体」出場おめでとうございます。しっかりととした目標を持って、日々、厳しい練習に取り組んだ成果が、国体出場という大きな形になりました。奈留高校のキャッチフレーズ「小さな島の大きな挑戦」にふさわしい大きな1歩目を踏み出せたのではないかでしょうか。全国の強豪と戦えるうれしさ、そして、ありがたさ、3年生にとっては、もう少し野球を続けられる喜びを爆発させて、2歩目、3歩目と頂点を目指してがんばって下さい。

また、地元五島での開催という強みをいかして、私達も、生徒、教職員、そして地域の皆様方と一緒に団結し、野球部に負けないパワーで一生懸命応援していきたいと思います。

保護者の皆様、そして奈留島の皆様、どうぞご声援よろしくお願い致します。

奈留高野球部、奈留高魂でがんばれ！！



『おめでとう』 同窓会会長 紙村 道義

奈留高校軟式野球部の長崎がんばらんば国体出場おめでとうございます。地元開催ということもあります、一段と期待されています。あなた方の練習での掛け声がいつも奈留島に響き、清々しい気持ちにさせてくれます。

本大会では自分達の持てる力を発揮し、「仲間で作る・試合を作る・歴史を作る」その気合で今一度奈留島を揺れ動かして下さい。

最後に、島内外の方々へ。日頃より、智力・人力・物力にと御尽力頂き感謝申し上げます。

奈留高等学校も来年50周年創立記念を迎えることになりました。今まで以上に皆様方の御力添えを賜りますようこの場をお借りし、お願い申し上げます。



『健闘を祈る』 校長 下益 祐保

いよいよ、大舞台。私も奈留高の一人として、この試合に臨みたい。

◆選手諸君へ。スポーツ大会の規模、国体はオリンピックに次ぐ。だから、国内大会では最大。日本中のアスリートがここ長崎に結集する。それが国体。最高の舞台に立てる君たちは、最高に幸せだ。最高のパフォーマンスを期待する。地域の熱い期待と声援に感謝し、持てる力を十分に発揮して欲しい。健闘を祈る。

◆応援の生徒へ。同じ教室で過ごす友は、ただ者ではないぞ。友の一球一打を見逃すことなく、渾身の声援を送り、共に闘おう。試合は、勢いのある方が制する。全校一丸、グランドで「小さな島の大きな挑戦」を大合唱しようではないか。

◆保護者・地域の方々へ。五島市での国体試合、頼ってもないこのチャンス。奈留の子どもたちを、チャンスに強い子どもたちに育てたいものです。どうぞ、応援、よろしくお願ひいたします。



『5年越しの国体』 監督 本田 総一郎

平成26年7月24・25日に第59回全国高等学校軟式野球選手権長崎大会が諫早市営野球場で行われました。初戦を北松農業高校に10対2で勝ち、決勝戦は創成館高校に2対1で勝利し、3年ぶり14回目の優勝を収めました。

また、北部九州大会では1回戦、福岡県代表の八女学院高校に4対5で敗れましたが、今までにない粘り強さが見られた大会でした。

そして、8月27日には日本高等学校野球連盟より連絡をいただき、正式に第69回長崎がんばらんば国体の出場が決定しました。国体出場は、5年ぶり2回目の出場となります。全国各地の強豪校と試合ができる。3年生にとってはどの学校よりも長く野球ができる喜び。1・2年生にとっては、全国のレベルを体験できる良い経験となります。地元五島市での開催です。五島市が盛り上がるよう、全力プレーで頑張ります。前回の国体は第3位という成績を収めることができました。本校のキャッチフレーズ「小さな島の大きな挑戦」で、まずは1勝。選手と共に最高の思い出となるよう頑張ります。みなさまの応援をよろしくお願いします。



『小さな島の大きな挑戦』 部長 平川 将太郎

8月27日、長崎がんばらんば国体への長崎県代表として出場が決定。嬉しいという思いより、正直ほっとした。

奈留島へ来て今年で2年目、五島はもとより長崎と縁もゆかりもなかった私が巡りあつたこの奈留高校。そこで、大好きな野球を子どもたちに指導することができ、その子どもたちのこれまでの努力が実を結び、5年ぶり2回目の国体出場。今大会では前回大会の3位以上を目指して頑張っていきます。

試合では奈留高校らしい全力疾走と大きな声、投手を中心とした守備からリズムを作り、攻撃では少ないチャンスをみんなでつなぎ、モノにしていく”負けない野球”で開催地、五島市を盛り上げたいと思います。

この小さな島の子どもたちがどのような大きなことを成し遂げてくれるのか、「小さな島の大きな挑戦」 この気持ちを忘れず、監督とともに頑張ってまいりますので、皆様楽しみにしていてください。応援宜しくお願いします。



『国体出場の喜び』 保護者代表 松下 良美

本当に国体に出場できるなんて、驚いています。私の息子は、中学校までバドミントンをしていました。高校には、バドミントン部が無いため、それまでキャッチボールすらした事も無い息子が、高校入学と同時に軟式野球部に入部して大丈夫なのかと心配でした。毎日、真面目に練習を頑張っていましたが、ケガや病気をしたり、悔し涙を流していたのを見た時は、このまま続けて行けるのかとても心配でした。

昨年、3年生が引退した後、部員数がわずか7名でのスタートでした。4月より新入部員も入り、監督や先生方のお陰で県大会優勝を果たすことができました。このときは、毎日、汗と泥で真っ黒になった練習着をせっせと洗濯し続けた私達には、何とも言えない喜びで一杯でした。県大会優勝パレードでは、見に来てくださった“なるの里”的おじいちゃん、おばあちゃん、そして、地域の方々に手を叩いて喜んでもらえ、とても嬉しく、子供達の事を誇りに思いました。

国体では、また感動できるような試合を思いっきり全力で、頑張って欲しいと思います。私達保護者も、頑張っている子供達を全力で応援していきたいと思っています。

軟式野球部

鍛錬坂号外

長崎がんばらんば国体 組合せ

北海道尚志学園 (北海道)	10月13日 9:00	10月14日 11:30	10月15日 10:00	10月16日 10:00
神清学園 (兵庫)				
愛留 (長崎)				
文徳 (熊本)				
中京 (岐阜)	10月13日 14:00			
那智 (広島)				
三浦学苑 (神奈川)	10月14日 9:00			
南部 (和歌山)				
能代 (秋田)	10月13日 11:30			
福岡大大源 (福岡)	10月14日 14:00			



かっとばせ!



選手から一言



氏名：大小瀬詠太（3年）
ポジション：投手（主将）

◆国体まで野球ができることが、もう一度五島の地で試合ができることに感謝し、精一杯プレーします。



氏名：鶴瀬 隼哉（3年）
ポジション：二塁手（副主将）

◆守備ではノーエラー。攻撃では、クリーンアップに繋げる事を徹底していきます。



氏名：松下 一平（3年）
ポジション：右翼手

◆打線の軸として、気迫を全面に出し、勝負強いバッティングをする。感謝の気持ちを忘れず、この仲間と少しでも長く野球をする。



氏名：月川 陽太（3年）
ポジション：中堅手（副主将）

◆今まで応援してくださった全ての方に感謝し、1勝でも多く勝つことで恩返しをしたい。



氏名：田上 流海（3年）
ポジション：左翼手

◆いろいろな方の支えで野球がやられました。全力プレーで感謝の気持ちを伝えます。



氏名：平山 龍介（2年）
ポジション：捕手

◆3年生と出来る最後の試合なので楽しんでプレーします。また、自分が引っ張るという気持ちで臨みます。



氏名：池村 圭太（1年）
ポジション：右翼手

◆レギュラーの皆さんとのサポートができるようなベンチワークをしていきます。



氏名：植木 希光（1年）
ポジション：左翼手

◆メンバーが試合にだけ集中できるようにベンチワークをする。



氏名：葛島 康輔（1年）
ポジション：一塁手・投手

◆ピッチングでは、任された回数をきっちり投げ抜き、状況にあつたバッティングを心がけて、声でチームを盛り上げます。



氏名：城山 大輔（1年）
ポジション：遊撃手

◆大会一の出塁率と、ノーエラーが目標。1番ショートで役割を果たす。



氏名：橋口 雄太（1年）
ポジション：中堅手

◆自分がチームのために何ができるかを考え、試合で選手が戦いやすいに頑張ります。



氏名：古巣 早絵（1年）
マネージャー

◆これまでの練習でしっかりと選手をサポートし、勝利に貢献できるようにします。



氏名：岩本 拓也（1年）
ポジション：二塁手

◆3年生と力を合わせ、悔いが残らない試合になるようベストを尽くします。



氏名：大小田 拓光（1年）
ポジション：右翼手

◆今まで学んだことを活かして選手がしっかりプレーできるように頑張ります。



氏名：葛島 雄太（1年）
ポジション：三塁手

◆みんなに声をかけて盛り上げて行きます。



氏名：鷹見 凌河（1年）
ポジション：一塁手

◆チーム全員で日々練習に励んできました。今まで、応援していただいた方に恩返しが出来るよう頑張ります。



氏名：福島 海輝（1年）
ポジション：左翼手

◆ベンチワークでみんなと協力し合って、一生懸命チームのサポートをおこないます。



氏名：三宅 朝風（1年）
マネージャー

◆マネージャーとして、選手一人ひとりを全力でサポートします。臨機応変で素早い行動を心がけます。

全校一丸で頑張ります！！